



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>



どうぞよろしく!

新しい学習者が増えています。クラスはいつも活気があっていいのですが、勉強が終わったあとに交流を持つ時間も限られているので、全員の顔を覚えるのはむずかしいですね。11月入会の人たちを紹介します。
上段左から ライモンさん、ヒマワンさん、スギヤントさん（インドネシア） 王成偉さん（中国）
下段左から ゲェン ザイン ハウさん、ファン チェン ヒエプさん、ゲェン ヴァン タンさん（ベトナム）



写真で紹介できなかった人があとふたり、ポールさん（ドイツ）とサリタさん（ネパール）11月は、全部で9名の仲間が増えました。でも残念なことに先生役の日本人の入会はゼロでした～（涙）



中川先生のへんてこ日本語

77



ご乗車になられましたら

JRのホームでのアナウンスに「ご乗車になられましたら、車内中ほどまでお進みください」というのがある。

この表現について50名程度の日本人学生に聞いてみたところ、9割程度の学生は、別におかしいとは思わず、むしろ「丁寧でよい」との回答であった。また中国人ノンネイティブ日本語教師は、ほぼ全員が「間違いである」と回答した。

なぜこんな結果になるのか。つまり日本人の場合、これまでに敬語のシステムについて学んだことも考えたこともない。それに対して日本語学習者（中国人日本語教師も最初は学習者だった）の場合は、敬語にしろ、可能形にしろ、受け身にしろ、システムティックに日本語を学んでいるので、間違いには敏感になる。むしろ学習者の方が正しい日本語を使っていることがある。日本語ネイティブの場合は、学んだこともなければ、耳慣れた言葉には、それが正しく思えてきて判断がつきかねることすら起こってくる。

ちなみに、「書く」「読む」等の和語動詞は、「書きます」「休みます」の「ます形」を「おくになる」「お書きになる」「お休みになる」とし、「出発する」「乗車する」等の漢語動詞の場合は、「こくなる」「ご出発になる」「ご乗車になる」と教える。よって先の「ご乗車になられる」は、二重敬語となっておかしい。

海外で純粹培養されて日本語を学んだ学習者が日本へやってくると、日本人色に染まっていくことがよくある。確かに語彙力や表現力は向上するだろうが、正確さからはどんどん遠のいていくようである。

私がここで言いたいのは、「日本人にも日本語教育を」受けてもらう必要があるのではないかということである。自分の言葉のシステムを学ぶと、これまで知らなかった不思議な現象に気づくであろう。

お昼すぎに訪ねてきた中国人学生が、「先生、もうお食事なさいましたか」。その後やってきた日本人学生が、「先生、もう昼ご飯終わりましたか」。さああなたはどちらが正しいと思うだろうか。

京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄

オーブ秋の遠足



2016-11-13 (日)、恒例の秋の遠足に出かけました。今年は文化庁助成事業の一環として、オノマトペ(擬音語、擬態語)を学習しながら自然を楽しもうという企画で、東近江市の「河辺いきものの森」に貸し切りバスで出かけました。



まずは、前日の日本語教室でオノマトペの講義がありました。内田先生が工夫を凝らして難しいオノマトペを解説、「つつつつ」と「ざらざら」は写真用紙と紙やすりを触ってもらって体得してもらうといった方法で、皆さん、楽しみながらオノマトペを学びました。

当日は貸し切りバスで「河辺いきものの森」に到着後スタッフの皆さんの紹介を受け、まるはし先生が森の生き物について説明してくださいました。イラストをたくさん使って、わかりやすい日本語で話してくださいましたので、日本語学習中の皆さんも、興味をもって耳を傾けていました。

その後、小グループに分かれて森の中を歩き回り、あちこちに掲示されているクイズを解いて回りました。中には、のこぎりで木を切るときの音、中空の竹をたたく音などは、人により、国により、異なったオノマトペで表現されることなど、楽しく勉強することができました。



午後のお楽しみはバウムクーヘン作りです。参加者は10班に分かれてこの課題に挑戦しました。火の起こしかた、材料の調合、心棒になる竹の前処理などスタッフさんの説明を受けたのち、にぎやかにスタートしました。何層も重ねて焼き上げたら、竹から外して、輪切りにすれば「お手製バウムクーヘン」の出来上がり。みんなで美味しくいただきました。



参加者の皆さんからいただいた感想

- ・森の中の散歩は楽しかった。 ・いろいろな国の人と日本語で会話できたのがうれしかった。
- ・オノマトペを楽しみながら勉強できてよかった。 ・みなでおしゃべりしながらお弁当を食べたのが楽しかった。
- ・バウムクーヘン作りが面白かった。出来たケーキは美味しかった。

日本語の学習とレクリエーションを兼ねた楽しい一日でした。

(田中一美 記)

日本語ボランティア講座(11月6・12・20日)

文化庁助成事業、KIFA 主催の日本語教育支援者研修「日本語ボランティア講座」が開催されました。講師は伊賀日本語の会テクニカルアドバイザーの船見和秀さん。9月の「はじめての日本語ボランティア」10月の「やさしい日本語」に続き、集大成の3回目です。オリーブでは全講座のコーディネーターを恩地が引き受け、また毎回講座のサポート役に延べ10名の会員が協力しました。今回の講座をサポートした3名の報告です。

文化庁助成の「日本語教育支援者研修」の実践編が11月6日(日)から始まりました。当日は行楽日和の日曜日にも拘らず、オリーブの7名をはじめ26名の方が滋賀県各地から参加されました。

この日は、船見和秀先生の「0からの初級前半の学習者を教えるには！」をテーマとした授業でした。指導者が一方的に話し、学習者はただそれを聞くだけの授業にならないための方法や注意点を教えてくださいました。例えば、文法を説明せずに例文で伝えることや、絵や図で指示する方法。また、会話を大切にしながら対話を引き出すためのゲームなどです。先生が授業の最初に「講義は嫌い、受講者との対話が大切」と言われたとおり、授業内容は学習者を引き付けて笑いの絶えないもので時間の経つのも忘れるほどでした。これからは、自分もそのような授業ができるように頑張りたいと思いました。

(内田 幸夫)



第2回 初級後半の学習者を教えるには！の研修に参加しました。KIFA、他市国際交流協会の方など22名の方が参加されていました。先ず、最初に

【0】アイスブレイキング

あるテーマで話そう：1、秋と言えば ○○の秋

食欲の秋、スポーツの秋、旅行の秋、行楽の秋、紅葉の秋

2、○○だったら、○○あったら

10万円あったら・・・旅行します。食事します。洋服買います。貯金します。等々

【初級後半レベルって】

◆『みんなの日本語 初級II N4 26課』を使っている学習者
～んです。

今回は以下の教材を用いて授業をしてくださいました。

【1】日本地図で話そう (バリエーションとして 世界地図、近畿の地図、○○県の地図、 △△市の地図等でもいい。話そう)

あなたの関係する都道府県を塗りつぶしてください。との指示がありました。

私たちは思い思いに自分の関係する都道府県を塗りつぶしました。

<会話の例>

A: どうして 東京都 をぬったのですか。

B: 息子夫婦がいる んです

思い思いに相手方と会話をしていくのです。

【2】カレンダーで話そう

<タスク> _____ だと思う日を○してください。

記念日、祝日、○○の日などに○をする。何の日だかを話し合う。

【3】カメラで漢字

Q: 非漢字圏の学習者に対して、どのように漢字学習を促せばよいでしょうか。

アイデアをシェアしましょう！

禁止、割、特、節、とかを使用している熟語を探してカメラに撮る。皆が興味をもち、いろんな漢字を持ちより憶える。

【4】相槌名人 【5】順序立てて話す 等の授業があり、大変興味深いものがありました。いろんな角度から私たちが学習者に教えていく必要があると感じました。

(中西 利夫)



11/20の講座は、中・上級の学習者にどのような手段でレベルに応じた日本語を教えるか、という内容でした。持参していただいた教材(遊具に近い?)を2つほど紹介すると

漢字ポーカー：漢字1字(学・生・上・可など)を書いた40枚ほどのカードを準備し5枚ずつ配ってその中で役(単語)を作るというもの。

1. 市販カードゲーム：お題と答えの書かれたカードの2種があり、お題1つを選び、回答カードを複数枚配る。これと思う答えを選び、選んだ理由を述べる。

・敵対国に「 」が送られたら宣戦布告とみなされるものは? に対して「ボーリングのピン」、その心は?

教科書を離れて一工夫した教材を準備することと、それを用いていかに生徒に考えさせるかという点に重点を置かれた講義でした。

何より楽しみながら学習できる、ということがよく考えられた教材だと思います。初心者向けにも漢字をひらがなカードに変えるなどで応用すれば使えるようで、今後の参考になりました。

(豊村 信良)



先月の活動(11月)

日本語教室	11/5(M),12,19,26	(4回)
日本語ボランティア講座	11/6(日)	(恩地・内田)
	11/12(土)	(恩地・中西)
	11/20(日)	(恩地・豊村)
森の中でオノマトペ	11/13(日)	
まちセン施設部会	11/10(木)	(前田)
わくわく科学実験	11/26(土)	(田中一美)
ジモトーク会議	11/26(土)	(恩地・豊村・小春・吉田・中村・KIFA)



今月の活動予定(12月)

日本語教室	12/3(M),10,17	(3回)
ジモトーク会議	12/10(土)	(恩地・豊村・小春・吉田・杉山・中村・KIFA)
まちセン全体会議	12/13(火)	(田中・前田)
ジモトーク	12/18(日)	

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(11月)

	11/5	11/12	11/19	11/26
生徒	16人	42人	39人	37人
先生	17人	18人	21人	14人



会員の動き(11月)

〈入会〉〈休会〉〈退会〉〈賛助会員〉なし

KIFAの新年のイベントです



お知らせ

今年もオリーブ新年会をしよう!

と、いうことで、案として「ぜんざいを食べる」「日本の昔の遊びを体験する」「1年の目標を発表する」などがあがっています。詳細は1月7日の定例ミーティングで決定する予定。年末年始の休み中に、楽しい新年会にするには何が必要か考えておいてくださいませ〜。



KIFA ☆ 草津市国際交流協会 ☆

Welcome to our

World たぶんカフェ

パーティー

PARTY!

2017年

1月15日(Sun.)

手品やザンバを楽しみながら、軽食をつまみながら、色々な国の人とおしゃべりする国際交流イベントです!

12:45 ~ 15:00 (受付 12:30~)

草津まちづくりセンター 2F

参加費: ひとり **500円**
(未就学児は無料)

定員: 外国人・日本人 各 40名 (先着順)

※ ご注意ください!!
ポットラックパーティではありません。

【申込・問合せ先】草津市国際交流協会 (KIFA)
電話: 077-561-2322 FAX: 077-561-2482
E-mail: kifa-japan@codao.ocn.ne.jp HP: http://www.kifa-japan.org

(草津市西大路町9番6号) TEL: 562-9240

会場の地図 (草津駅白から徒歩5分)

中村さんの季節折々 12月 (師走)

草津メロン食べて近江の人となる

ケンジ

みなさん、このコーナーも今回で終わりです。1年間ありがとうございました。

良いお年を...

中村健治



編集後記: あれよあれよという間に12月です。昔は、あわただしさの中に1年が終わることへの郷愁と、同時に新年を迎える晴れやかな期待感を持ったものですが、このごろは年末があまりイベントとして意識されません。普通の月替わりとあまり気分が変わらない。トシのせいかな? ちょっと寂しいような…。ともあれ皆さん今年はお世話になりました。よいお正月をお過ごしください。(MO)

